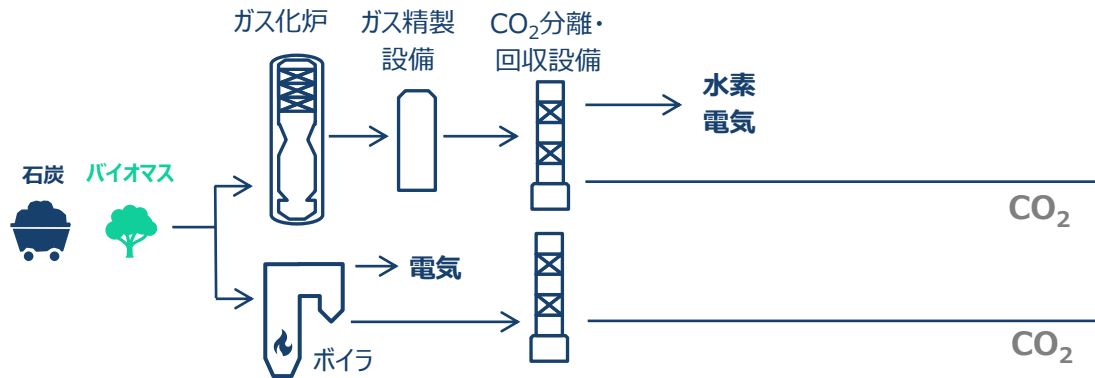


国内大規模CCSの事業化調査の開始

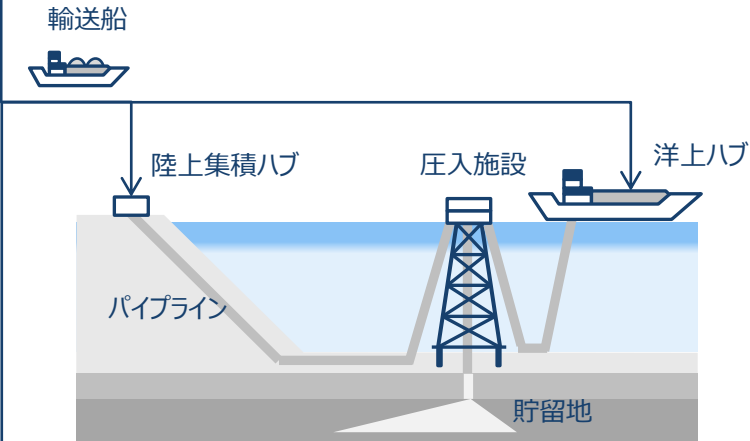
主要なCO₂排出事業者としてCCSに率先して取り組み、エネルギー安定供給とカーボンニュートラル実現に貢献します
CO₂排出事業者の力を合わせ、建設・設備・輸送事業者とも連携・協調して大規模CCSの2030年開始に挑戦します

構想

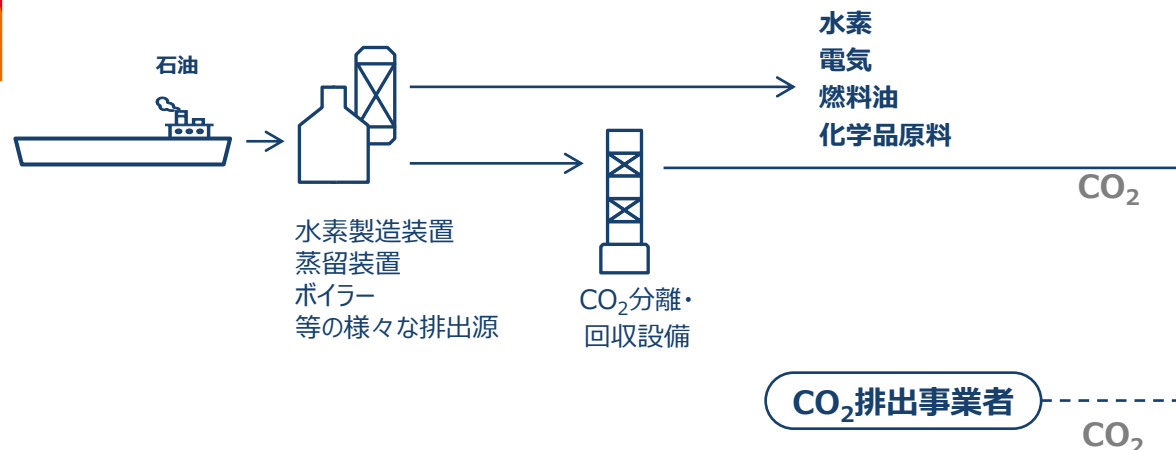
- 石炭火力発電において排出されるCO₂を分離・回収
 - ガス化技術とCO₂分離・回収技術を組み合わせ、CO₂フリー水素発電を実現
 - 既設石炭火力の燃焼後のガスからの分離回収も想定



- CO₂を貯留地へ輸送し、圧入・貯留
 - CO₂貯留ポテンシャルが見込まれる候補エリアの検討
 - 排出源から貯留地への輸送方法の検討
 - 貯留地の圧入施設の検討



- 石油精製過程において排出されるCO₂を分離・回収し、製油所の脱炭素に貢献
 - 水素製造装置からの高濃度CO₂の分離・回収
 - 蒸留装置やボイラーの排ガスからのCO₂の分離・回収

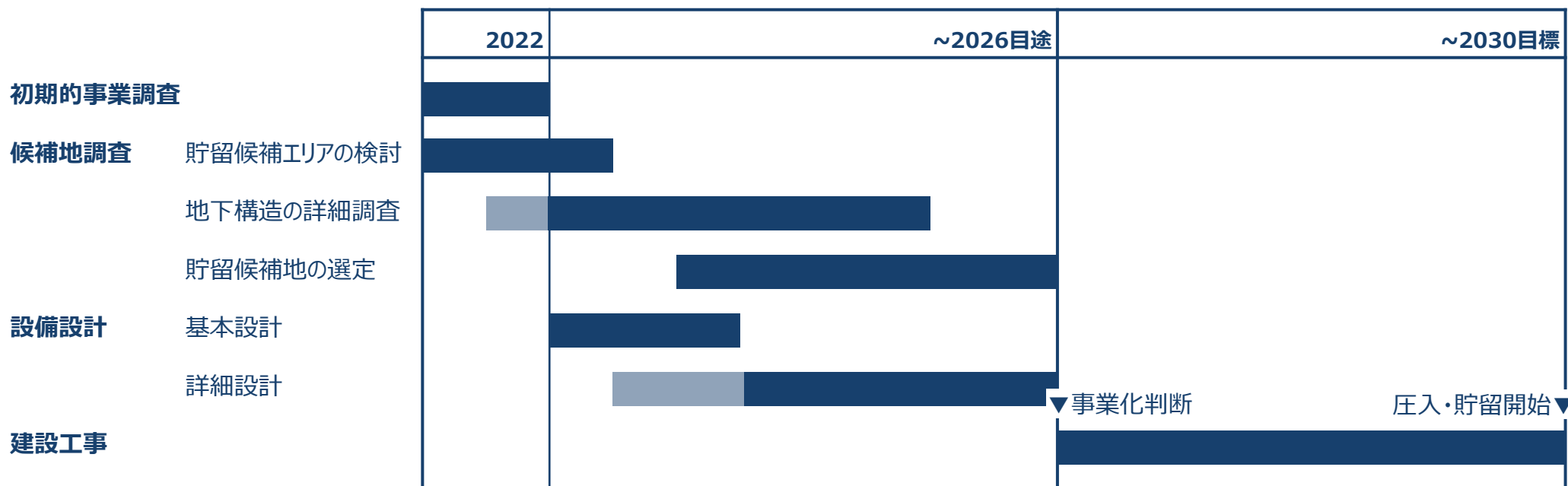


CO₂排出事業者

CO₂

計画

- 両社の排出源が立地し、CO₂貯留ポテンシャルが見込まれる西日本を対象として事業化調査を実施します
- 貯留候補エリアの検討から圧入・貯留開始まで、各種調査や設計、建設工事に10年近い期間が必要となります
- 早期に着手して、2030年からのわが国のCO₂削減への貢献を目指します



- 様々な関係者と協調・連携して事業環境整備やCCSチェーン形成、費用低減などの課題解決に取り組み、早期実現を図っていきます

